

## 令和7年度第1回京田辺市立老人福祉センター運営協議会

日 時 令和7年8月19日（火） 10時00分～11時25分

場 所 老人福祉センター宝生苑 ふれあいルーム

出席者 柳田会長、市川副会長、河田・横山・香村・田中・渋谷・北尾・  
寺本・飯田（健康福祉部長） 各委員

欠席 なし

傍聴者 なし

事務局 北川健康福祉部副部長、木村高齢者支援課長（宝生苑所長）、  
岩本高齢者支援課指導主幹（常磐苑所長）、鈴木宝生苑所長補佐

内容

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

（1）老人福祉センターの利用状況等について

〈質疑等〉

委員：特殊風呂とはどういうものか。

事務局：介護風呂として通常の風呂の利用が難しい方が、家族の介助で利用される。

委員：利用者数はコロナ前と比べてどうなのか。

事務局：コロナの影響のない平成30年度と比較すると、常磐苑では平成30年度が31,394人に対し令和6年度は22,126人、宝生苑では平成30年度が84,016人に対し令和6年度は50,386人である。

（2）路線バス利用助成の状況について

〈質疑等〉

委員：令和7年度の数が増えている理由は。

事務局：令和6年度途中からの新規申請者があったことによるもの。

委員：令和6年度と比較するために前年度の資料があったほうが良い。

事務局：次回から対応する。

委員：令和7年度の予算額は。

事務局：常磐苑24万円と宝生苑66万円の合計90万円である。

委員：宝生苑は整備により老人福祉センターではなくなるが、補助金は継続されるのか。

事務局：現在検討中である。

委員：整備されても老人福祉センターと同じようにしていくということではなかったか。

事務局：老人福祉センターの機能は維持していくということである。

委員：路線バス利用助成金は続けてほしい。

### (3)大住ふれあいセンターの整備について

〈質疑等〉

会長：整備計画に変更があるなら、市民に説明する前にこの委員会に諮るべきではないか。

事務局：基本構想で説明した内容と大きく変更はないが、わかりやすい様式にした。休館中の代替事業について、活動を継続してもらえるように検討した。

会長：前回の運営協議会で、整備計画に変更があるようなら本運営協議会に諮るようにしてほしいとしている。

委員：グラウンドゴルフ・サークルの代表者との会議では、どのような意見が出たのか。

事務局：全 11 サークルすべてから出席いただいた。令和 8 年 4 月から 6 月まではグラウンドゴルフ場を利用できるが、それ以降は利用できないと説明させていただいたが、その期間も利用できないかとの意見もあり、工事車両の出入りがあるなど全体に工事に関わるため難しと説明をした。

代替施設として諏訪ヶ原公園と大住ヶ丘公園を提案させていただいたが、トイレがない、交通手段がない、用具の設置が大変などの意見があり、大住ヶ丘公園についてはそれに代わるところを検討している。諏訪ヶ原公園では、2 カ所あるうちの下のほうを月曜日から金曜日まで使用し、用具についても一部に置いておけるように担当部局と協議している。

委員：工事期間中も工事区域と分けることで、使用できるようにしてほしいという意見が多かったのではないか。

事務局：工事車両が頻繁に出入りする中で、工事区域と分けたとしても、安全性は保障できななので、できないと回答している。

委員：路線バスは入ってくるのか。

事務局：路線バスのルート変更は難しいと聞いている。施設利用者の車を

駐車するスペースはなくなる。

委員：8月3日の基本設計案説明会では、どのような意見が出たのか。

事務局：風呂の継続と、サークル活動の休館中の代替については、北部住民センター、中央公民館、中部住民センター、社会福祉センターの利用を調整中と回答した。運営方法で民間委託になるのかということだったので、決定した訳ではないと回答している。

委員：風呂の利用者は半分近くいる。パブリックコメントでも風呂の継続の希望が多い。8月3日でも多かったのではないか。

事務局：パブリックコメントでは風呂の継続も多かったが、市民アンケートでは健康づくりや介護予防のニーズが非常に多かった。そのニーズに応えるため、全ての年代の方に利用していただきたいということもあり、風呂については、利用者の固定化や各家庭にお風呂が備わっていること、近隣にある民間温浴施設などを総合的に踏まえ、スペースの制約もある中で、なくしていくとの判断になっている。

委員：他自治体では検討結果をホームページで公開している。カラオケルームや調理室はなくなるのか。

事務局：カラオケルームは防音室として残る。調理室については、北部住民センターに同じ機能のものがある。

委員：老人福祉センターは宝生苑がなくなれば、交通の不便な常磐苑の1カ所になるのではないか。

委員：八幡市や枚方市からの利用者がいるのではないか。

事務局：来られた時に住所の確認まではしていない。入口には60才以上の京田辺市にお住まいの方と掲げている。

委員：サンテラスコーナーでテレビを独り占めしている人がいる。この前、大きい音量で見ていたので、音量を小さくした方に大きい声で怒鳴っていた。

事務局：包括支援センターの職員と対応している。

委員：民間委託する方向なのか。

事務局：するか、しないか、まだ決定はしていない。

委員：民間委託するのであれば、有料になるのではないか。

事務局：8月3日から16日までどのようなことができるか意見を募った。結果は委員に見てもらおうと思っている。市や民間ではどのようなことができるのかを考慮し、どのような形がここにふさわしいかを検討

する。

委員：検討した結果を公表すれば良いではないか。

委員：超高齢社会になっていくからこそ、この施設を整備したい。目的がないと利用できない施設になっているので、初めて来た人がゆっくりできる場所がほしいという意見がたくさんあり、これまでの利用の場所も確保しながら、ゆっくりできてふれあいもできる場所にもしたい。

委員：協議できる資料を事前にほしい。

委員：高齢者に勧めることができる施設になれば良いと思っている。

委員：宝生苑で半分近い方が利用する風呂をなくすのはどうなのか。高齢者に対して楽しめる場所を提供するべきではないか。

委員：いろいろな意見が出れば、自分が勉強することができ、新たな提案をすることができる。

会長：これまでは利用状況の報告を年2回行っていたが、このような大事な議事がある場合は、事前に説明があった方が良かった。これまでの人も新たな人も利用しやすい施設にするために意見を出していきたい。新しい施設になった後も、この協議会で協議していくのか検討が必要である。

#### (4) その他

##### 〈質疑等〉

委員：路線バス利用助成について。

事務局：路線バスで来られた時に申告いただき、1回につき片道のバス料金相当額を月締めで振り込みする。

委員：宝生苑の利用者はどこから来られるのか。

事務局：市内全域が対象だが、大住地域からの方が大半である。路線バス利用助成ではだいたい田辺くらいまでだが、車での利用は把握していない。

委員：宝生苑の風呂がなくなると、常磐苑の風呂の利用者が増えることが考えられる。事前に対応を検討しておく必要がある。

委員：老人福祉施設設置条例などを改正する必要があるのではないか。

事務局：適切な時期に改正する。

会長：必要であれば運営協議会を開いてほしい。

#### 4 閉会あいさつ（副会長）